



# 令和4年度 第9回 対面<sup>で実施</sup> 応用動物科学セミナー

## マウス生殖細胞の性分化機構

相賀 裕美子 博士

国立遺伝学研究所 情報・システム研究機構 教授

使用言語・Language: 日本語・Japanese

受精を介して次世代の個体を産みだす生殖細胞が、どのような機構で卵子あるいは精子に分化するかという問題は、重要なテーマである。この講義では、生殖細胞の雄性化因子としての RNA 結合タンパク質 NANOS2 の機能について紹介するとともに、生殖細胞の性分化機構についても議論したい。



from W.T. Stearn (1962) THE ORIGIN OF THE MALE AND FEMALE SYMBOLS OF BIOLOGY

● 11月28日(月) 15:00 ~ 7号館A棟104/105号室

● 本セミナーは動物科学のフロンティア(修士課程)/動物科学フロンティア(博士課程)の講義1回分としても認定されます。履修者は、セミナーの内容についてレポートを作成の上(様式は自由)セミナー終了後2週間以内に下記担当教員まで提出すること。

● 問い合わせ / レポート提出先: 獣医学専攻 獣医解剖学教室 金井 克晃 教授

☎ 03-5841-5384 ✉ ykanai@g.ecc.u-tokyo.ac.jp